

県政報告

広島県議会12月定例会は12月7日から12月16日までの10日間の日程で開催され、平成27年度の補正予算、関連する条例が審議されました。

■平成27年度補正予算（12月補正）

補正予算額9億円

9月補正予算編成後の状況変化等を踏まえ、必要性が認められる事業に適切に対応することを基本として、「災害に強いまちづくり」や「地方創生」に向けた取り組みなどに時機を逃さず対応します。

（1）災害に強いまちづくり

債務負担行為（3億円）

○特定緊急砂防事業

- ・平成26年8月の土砂災害の被災地域において、次の出水期までに、砂防施設の一定の整備を行うため、早期の発注を実施

（2）地方創生

12百万円 債務負担行為（5億円）

○新たな経済成長

①本郷地区における産業団地整備

- ・企業の立地ニーズを踏まえ、三原市本郷地区における産業団地整備のための設計業務等を実施

②魅力ある観光地の創造・発信

- ・春の旅行需要を喚起し、観光客の更なる誘致と周遊促進を図るため、民間事業者の企画力を活用した取り組みや効果的な観光プロモーションを実施

○人づくり

①子育てパスポートの全国共通展開の実施

- ・45道府県が実施している子育てパスポートについて、全国共通展開の参加に必要なシステム改修等を実施

○その他

①離転職者への委託訓練の実施

- ・平成28年4月開始の離転職者を対象とした介護、OA事務等の職業能力を取得するための訓練を実施

②県立高等技術専門校における民間委託訓練

- ・県立高等技術専門校の施設内で行う平成28年4月開始の民間教育訓練機関による委託訓練等を実施

（3）広島の使命

56百万円

○主要国首脳会議（サミット）外相会合開催に向けた警備体制の強化

- ・2016年サミット外相会合における警備に万全を期すため、必要な装備資機材等を整備

○障害者スポーツ協会の設立**2百万円**

- ・スポーツ活動を通じた障害者の健康保持や社会参加を促進するとともに、東京パラリンピック等に向けた競技力の向上を図るため、広島県障害者スポーツ協会(仮称)の設立等を支援

○広島市東部地区連続立体交差事業**債務負担行為(2億円)**

- ・本年6月の見直しの方向性に係る関係機関の合意や住民説明会の状況を踏まえ、早期の完成に向けて、街路工事を実施

○旧福山若草園の跡地返還に向けた建物の解体**債務負担行為(0.5億円)**

- ・県立福山若草園の移転に伴い、旧福山若草園の土地を福山市へ返還するため、建物の解体工事を実施

○施設焼損に伴う損害賠償**15百万円**

- ・平成24年に福山で発生した火災の実証実験において、賃貸借施設を焼損させたことから、損害を賠償

○地域医療介護総合確保基金への積立**858百万円**

- ・国の内示を踏まえ、「地域医療介護総合確保基金」を積み増し

■条例

- 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の新設 (1件)
- 広島県税条例及び広島県産業廃棄物埋立税条例の一部を改正する条例 等 (9件)
- 電子署名に係る地方公共団体の認証業務に関する法律施行条例を廃止する条例 (1件)

■人事案件

- 広島県採用委員会委員及び予備委員の任命の同意について 等 (2件)

■議案

- 公の施設の指定管理者の指定について 等 (32件)

■報告事項等

- 県が資本金の四分の一以上を出資等している法人の経営状況説明書 等 (7件)

■意見書

- 森林・林業施策の推進を求める意見書
- JR三江線存続のための国の関与を求める意見書
- ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の治療推進を求める意見書
- 岩国基地の機能増強に伴う安全・安心な住環境の確保を求める意見書